
災害廃棄物処理支援員制度 (人材バンク) について

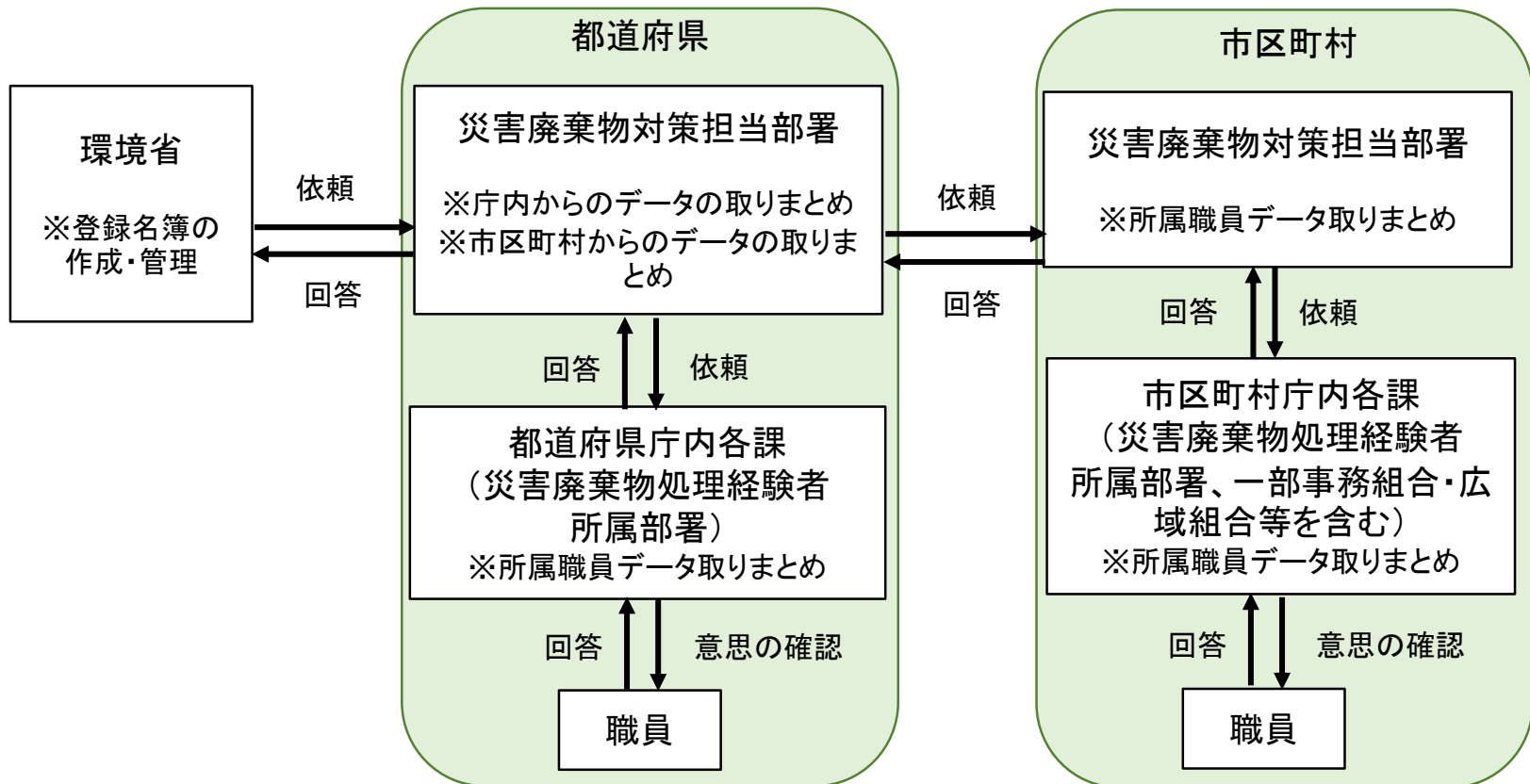
令和4年1月31日

環境再生・資源循環局 災害廃棄物対策室



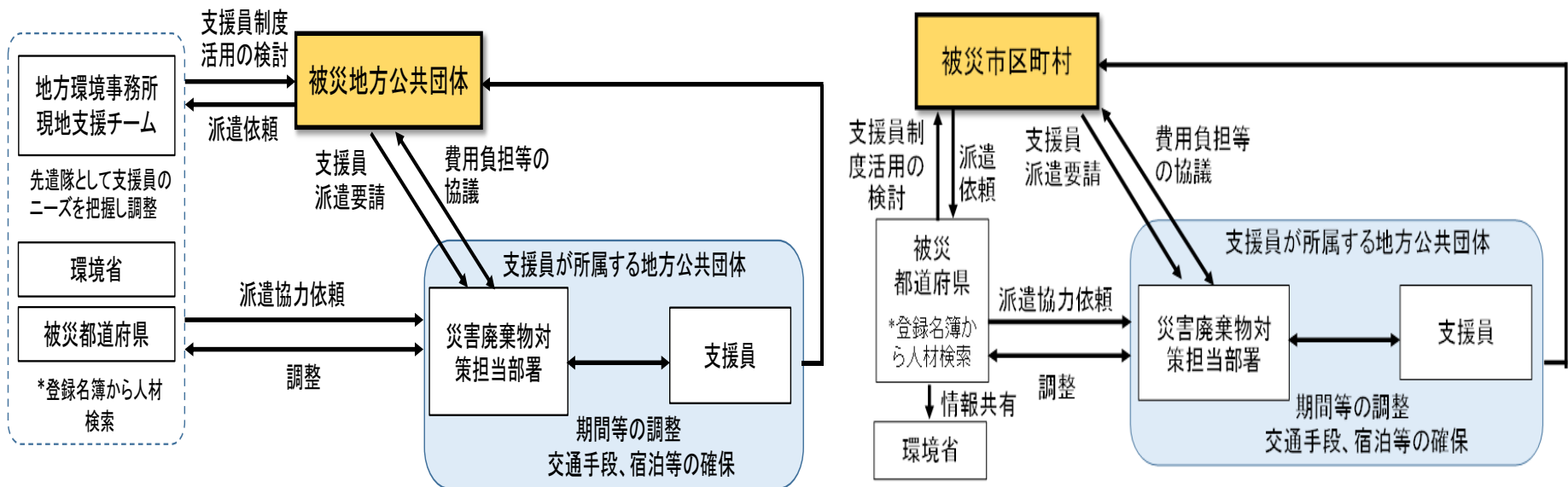
「災害廃棄物処理支援員の登録の流れ」について

- 毎年、環境省は災害廃棄物処理支援員の推薦について、全国の地方公共団体へ依頼
- 地方公共団体の推薦を受けた職員を災害廃棄物処理支援員として登録、名簿を作成
- 環境省で作成した名簿は、都道府県とも共有



「災害廃棄物処理支援員制度（人材バンク）」活用について

- 被災地方公共団体からの要請を基本に、環境省現地支援チームが災害廃棄物処理支援員の派遣の必要性について、被災地方公共団体と検討。都道府県、環境省において、災害廃棄物処理支援員のマッチング。
- 都道府県が、その所管地域内の被災市区町村と災害廃棄物処理支援員の派遣の調整を行うことも可能。



「災害廃棄物処理支援員制度（人材バンク）」登録状況（1/6）

＜支援員の都道府県・市町村等の登録人数（人）＞

※令和3年12月末時点

分類	令和3年度	令和2年度
都道府県	69	64
市町村等	191	175
合計	260	239

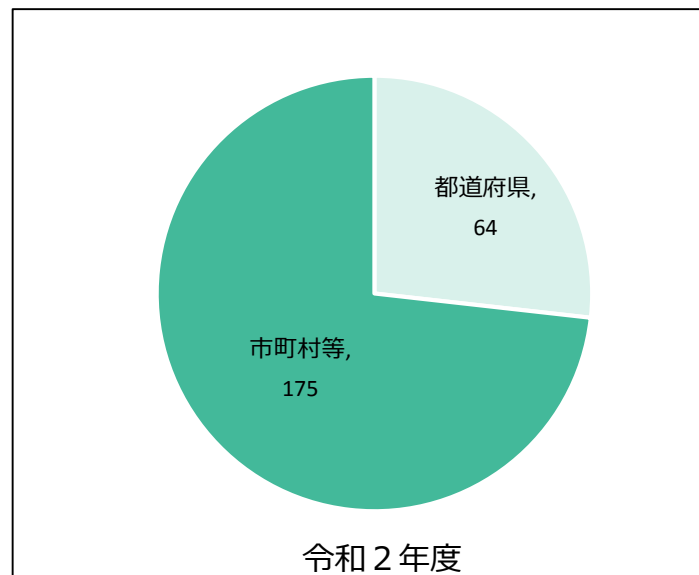
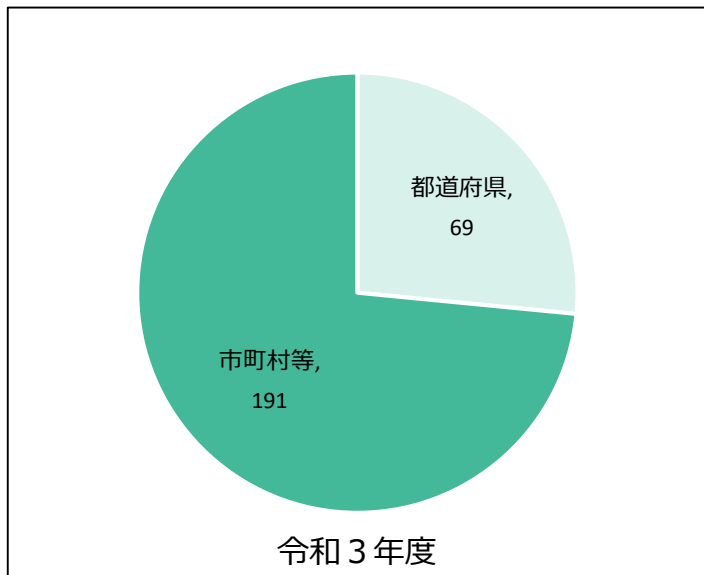


図1：支援員の都道府県・市町村等の割合（人）

「災害廃棄物処理支援員制度（人材バンク）」登録状況（2/6）

図2：各地域ブロック協議会における支援員数（人）

※令和3年12月末時点

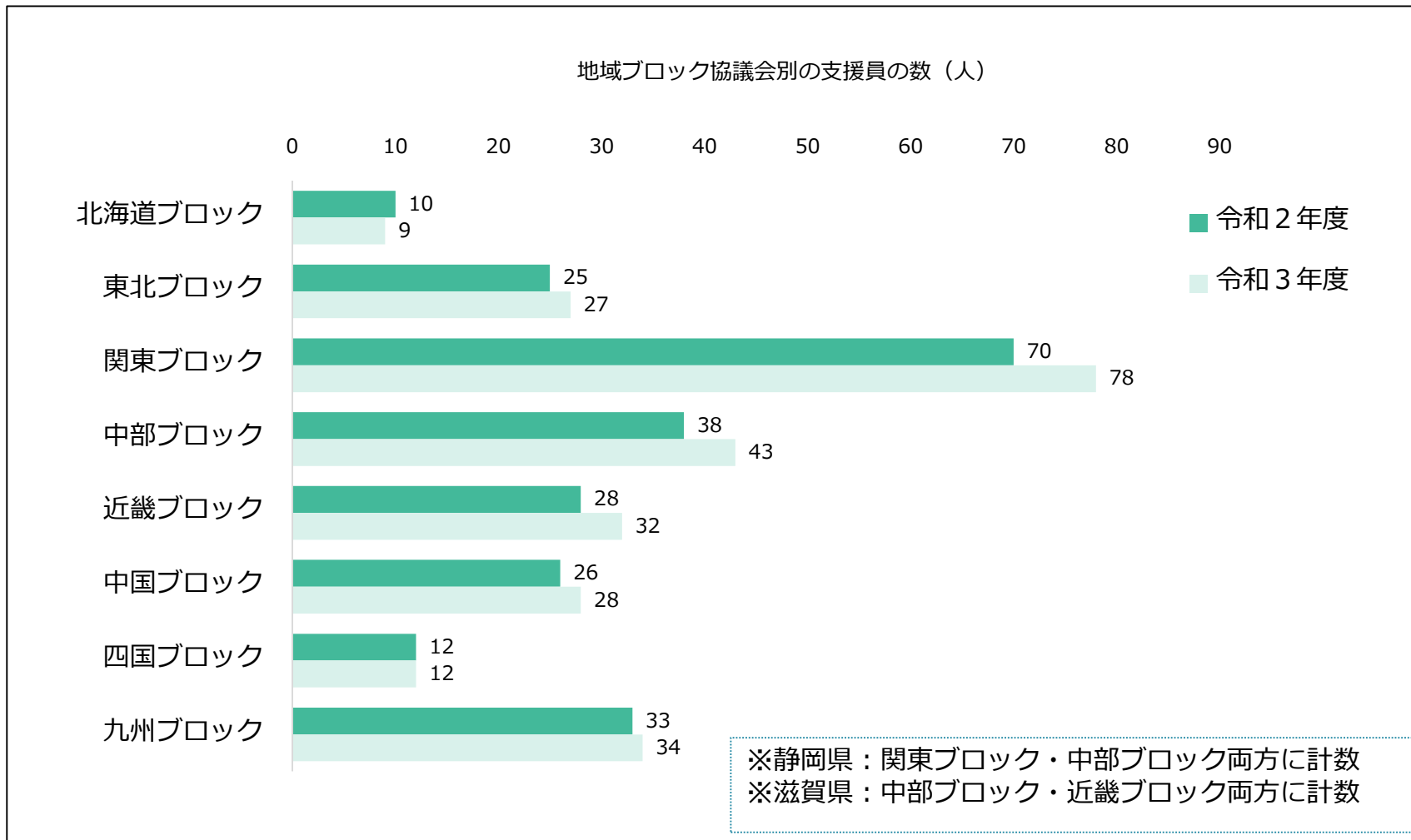


図3：支援員における役職別の人数（人）

※令和3年12月末時点

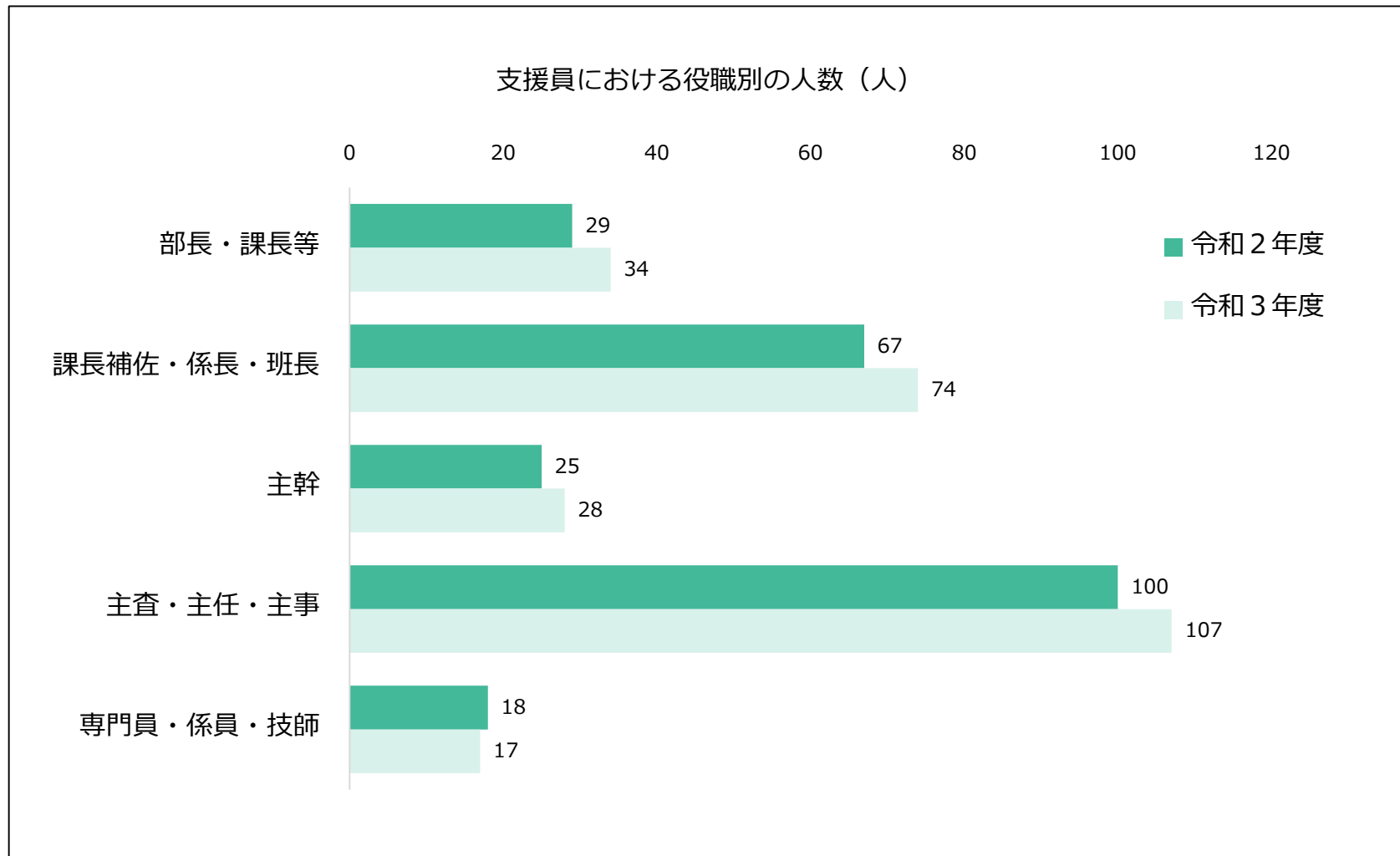
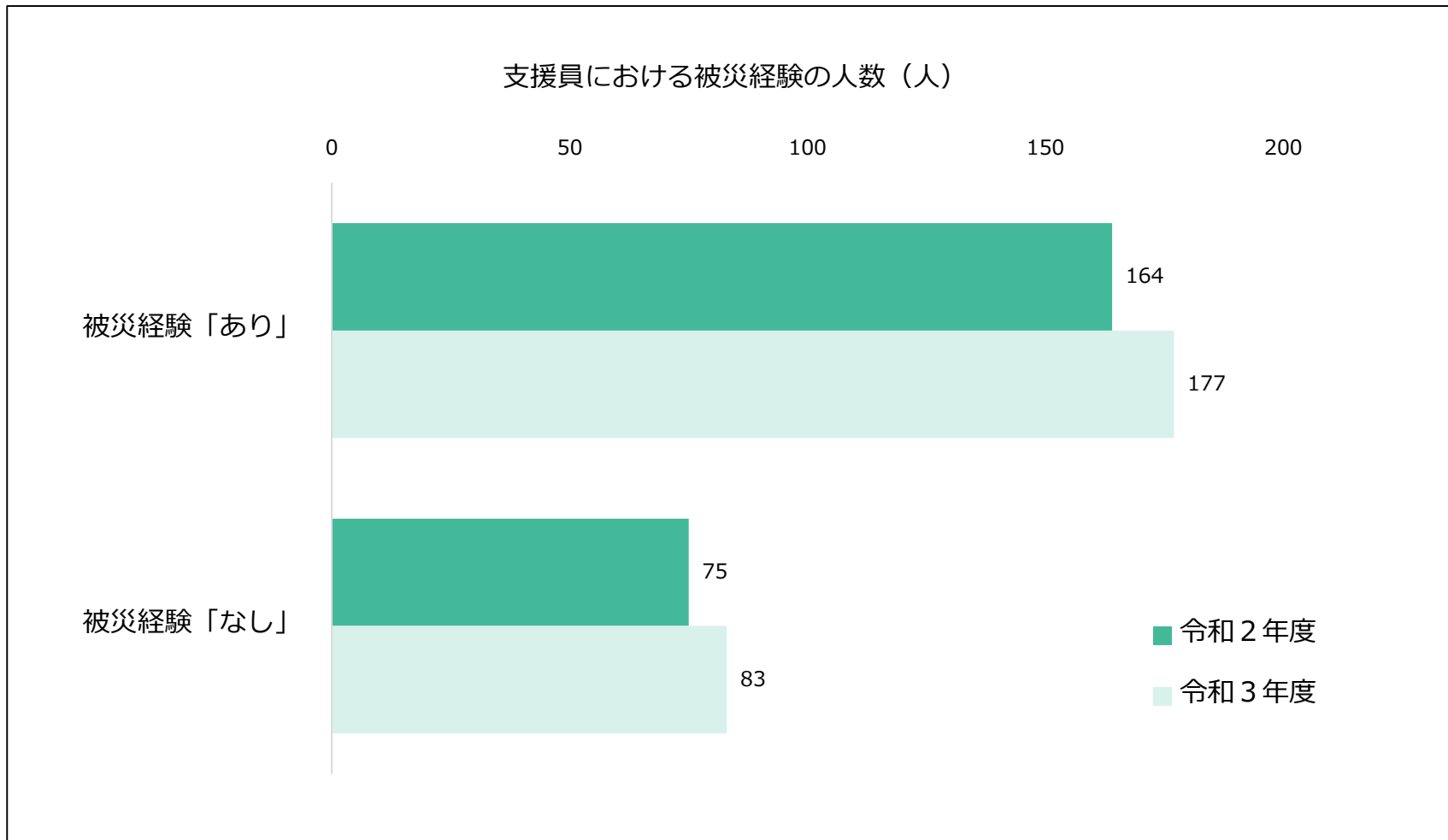


図4：支援員における被災経験の人数（人）

※令和3年12月末時点



「災害廃棄物処理支援員制度（人材バンク）」登録状況（5/6）

図5：被災経験がある支援員における災害種類別の人数（人）

※令和3年12月末時点

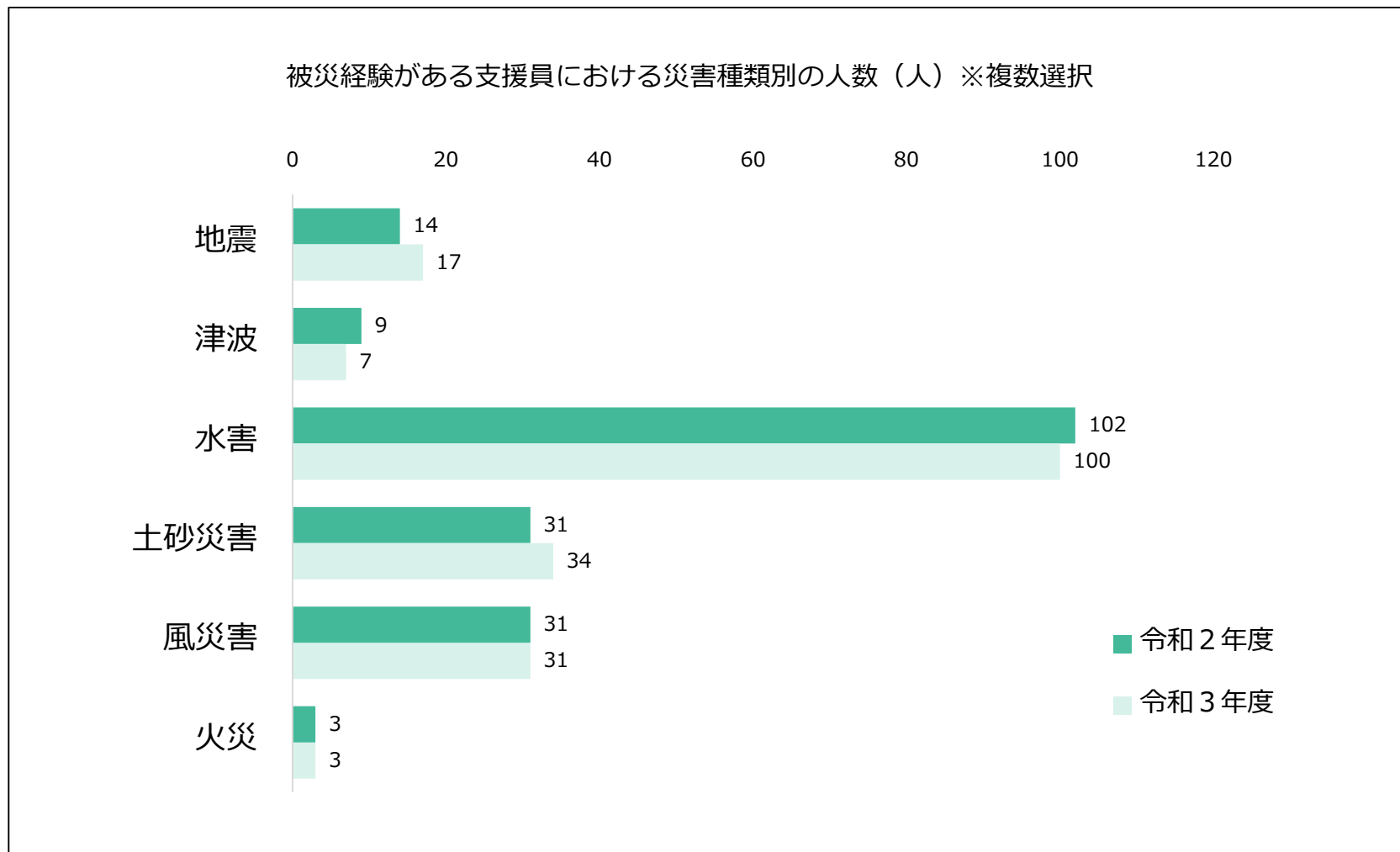
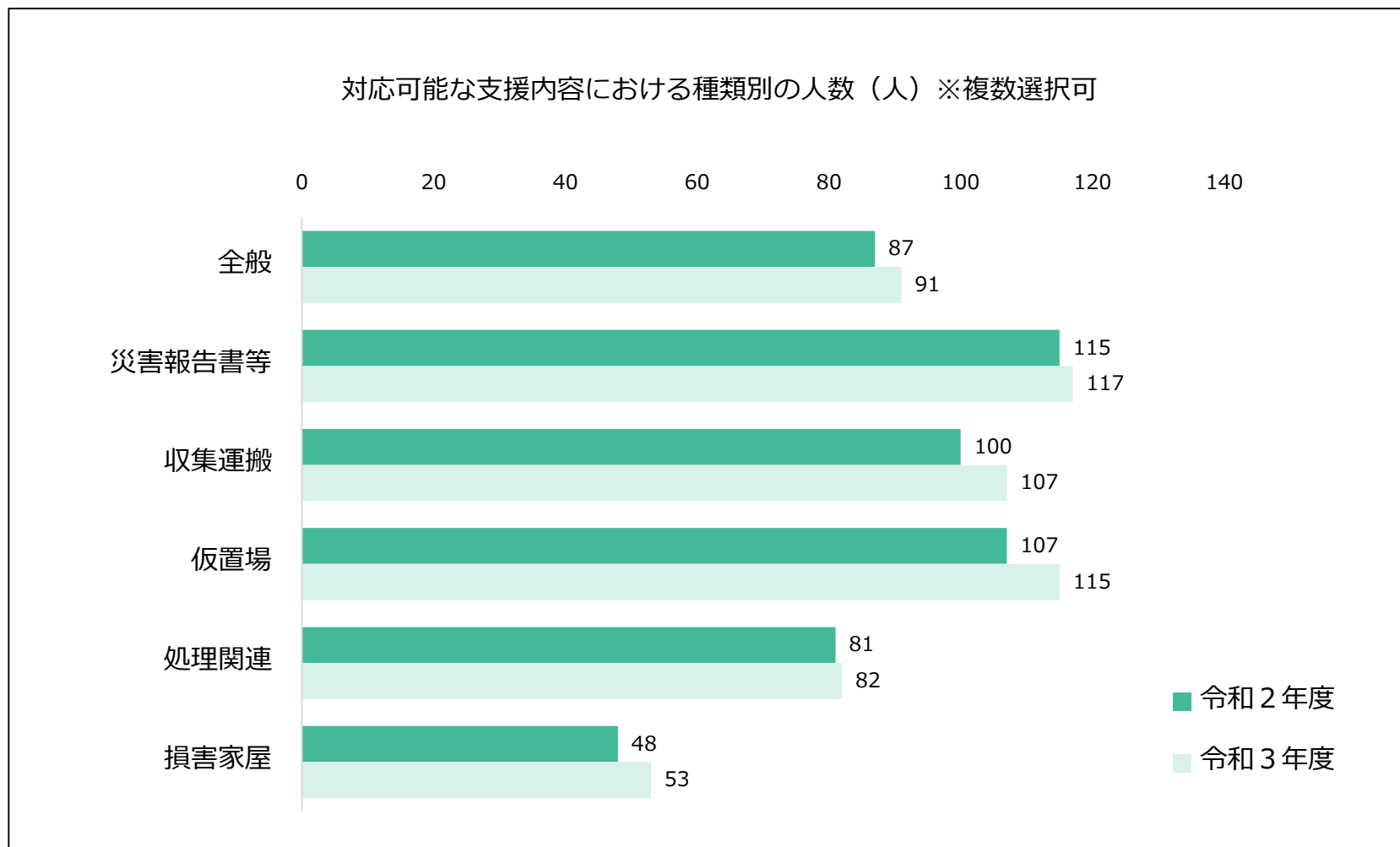


図6：対応可能な支援内容における種類別の人数（人）

※令和3年12月末時点



「災害廃棄物処理支援員の活動実績（熱海市）」について

- 令和3年7月豪雨により、静岡県熱海市の伊豆山地区において土石流が発生し、家屋等が被災
- 令和元年度房総半島台風の被災経験があり、災害廃棄物処理の知見を有する**千葉県館山市職員（2名）**を熱海市からの要請により派遣（8月31日）
- 土石流により被災した家屋等の被災状況を確認し、仮置場の運営状況などの確認を実施
- 仮置場の運営に関する助言、家屋解体・撤去に関する助言、災害等廃棄物処理事業補助金申請に関わる助言などを実施



土石流により被災した現地確認
館山市撮影



仮置場の運営状況などの確認
環境省撮影



家屋解体・撤去の助言を実施
館山市撮影

「災害廃棄物処理支援員の活動実績（北広島町）」について

- 令和3年8月豪雨により、広島県北広島町が被災
- 平成30年度7月豪雨の被災経験があり、災害廃棄物処理の知見を有する**広島県坂町職員（1名）**を北広島町からの要請により派遣（9月16日・29日、10月13日、11月4日・17日、12月6日）
- 災害廃棄物処理に携わる職員に対し、財務会計事務、被災住民への対応、公費解体・費用償還受付事務、仮置場の原形復旧等について助言
- 町災害対策本部会議に参加し、被災者に寄り添った制度設計及び迅速な災害廃棄物処理の重要性を説明



住民対応についての助言を実施（9月16日）
広島県撮影



仮置場についての助言を実施（10月13日）
広島県撮影

「令和3年度災害廃棄物処理支援員制度の予定」について

- 6月2日：人材バンクの推薦依頼（事務連絡）
- 1月14日：オンライン開催による研修（図上演習）
- 1月頃：YouTube動画による研修
（収集運搬、仮置場、家屋解体、災害報告書）
- 3月頃：災害廃棄物処理支援員マニュアルの作成
- その他：定期的なメール配信（登録状況、支援状況など）



昨年度（令和2年度）オンライン開催における研修の様子